２　３月の見通し

野　菜

各品目、作型・産地の切り替え時期を迎える。

暖冬であったことから、多くの品目で生育は前進しており、「だいこん」「はくさい」「にんじん」では、一時的に端境が生じ、入荷量の減少が懸念されるが、後続産地の生育は順調で、入荷量は前年並が見込まれる。

野菜全体では、入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。

果　実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」の出回りが中心となり、「びわ」「マンゴー」「すいか類」など夏を感じる品目が出てくる。

入荷量は、「いちご類」は九州産地で中旬以降３番果のピークを迎え、全国的に出荷量が増える見込み。「りんご類」は引き続き産地在庫少なく、前年を下回る。

価格は、「いちご類」は前年並の見込み。「りんご類」はCA貯蔵品に切替わり、中上位等級比率が増えるが、入荷量少ないため高くなる見込み。

果実全体では、入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。

品　目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備　考 （主産地の生育状況等）
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘↘	↗↗	⇑⇑	主産県は千葉、神奈川県産。生育は前進傾向で、出荷が前倒し、神奈川県産の切り上がりが早いことから平年をかなり下回る入荷量が見込まれる。
にんじん	⇒	↘↘	↘	⇒	主産県は千葉、徳島県産。千葉県産の収穫・出荷が前倒しし入荷量が減るが、生育順調な後続産地の徳島県産の出荷が始まる。入荷量は平年をかなり下回ることが見込まれる。
キャベツ類	⇒	↘↘	↗	↗↗	主産県は愛知、千葉、神奈川県産。生育は前進傾向で、愛知県産の切り上がりが早くなるが、神奈川県産が出回り、大きな端境はない。入荷量は平年をかなり下回ることが見込まれる。
ねぎ	⇒	⇒	↗↗	↘↘	主産県は千葉・茨城・埼玉県産。秋冬作の終盤で、入荷量は潤沢、下旬からは春作が漸増するため、入荷量は平年並が見込まれる。
きゅうり	⇒	↘	⇒	↗↗	主産県は宮崎・群馬・千葉県産。宮崎県・関東産の春作が漸増する。生育はおおむね順調だが、需要低迷等の影響から、入荷量は平年をやや下回ることが見込まれる。
トマト	↗↗	⇒	↘↘	↘	主産県は、熊本、栃木、愛知県産。天候に恵まれ、生育は良好で、安定した入荷となることから、入荷量は平年並が見込まれる。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並：±2%	↗↗，↘↘	かなり高，かなり低：±6～15%
↗，↘	やや高，やや低：±3～5%	⇑⇑，⇓⇓	大幅高，大幅低：±16%以上